成績管理・対策に関する優秀取組賞

【UNIVAS：成績管理・対策に関する優秀取組賞】

応募申請書

　　　　　令和　　年　　月　　日

長崎国際大学学長　殿

申請大学の所在地

申請大学の名称

申請者役職・氏名

下記のとおり応募します。

記

1. 応募対象の取組名

|  |  |
| --- | --- |
| 応募対象の取組名 |  |

1. 応募者の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  | |
| 3-1団体名（正式名称） |  | |
| ふりがな |  | 役職名 |
| 3-2代表者名 |  |  |
| 3-3所在地 | 〒 | |
| 3-4連絡先  （窓口担当者） | 氏名 | TEL |
|
| 所属・役職 | メールアドレス |
|

1. 応募条件に係る確認事項（募集要項４（2）応募条件①・②）

応募条件に係る確認事項について、確認の上当てはまる場合のみ○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 当該取組について、実施内容、導入手順及び取組方法等をUNIVASホームページ上等で公表することに同意する |
|  | 応募者は法令上または社会通念上、表彰するにふさわしくないと判断される問題等を起こしていない |

1. 取組の対象となる部活・学生数（募集要項5（1）審査の認定要件②）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 5-1対象部活数 |  | 5-3対象学生数 |  |
| 5-2総部活数 |  |

1. 取組の概要（募集要項5（1）審査の認定要件①）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組の概要（枠は適宜広げて記載ください） | |
| 6-1取組の内容 |  |
| 6-2目的 |  |
| 6-3背景 |  |
| 6-4取組による効果 |  |
| 6-5実施体制 |  |

【参考】

|  |  |
| --- | --- |
| 記載例（枠は適宜広げて記載ください） | |
| 6-1取組の内容 | * 本学では運動部の学生のうち進級が危ぶまれる運動部所属の学生に対して、面談の実施、注意勧告、試合の出場停止の三段階で成績管理を行っている。 |
| 6-2目的 | 本取組の目的は以下の2点である。   1. 本学独自の基準を設けることで学生の学業とスポーツの両立を目指すこと 2. 基準を設けるだけでなく、面談を実施する等学業とスポーツの両立に向けたフォロー体制を構築すること |
| 6-3背景 | * 本学では、運動部の学生が日頃の練習・試合や大会を優先するあまり、授業を欠席してしまい、履修していた単位の取得ができなくなってしまう等、本来学生が目指すべき学業と部活動の両立ができなくなっていた。 * 上記問題意識のもと、運動部学生への成績実態調査を行ったところ、進級が危ぶまれる学生が全体の2割強存在した。 * そこで、大学の学生支援課が主体となり、本学独自の成績基準を設置し、運動部学生向けの目標取得単位数を学年ごとに公表し、基準を下回りそうな学生に対しては面談の実施・注意勧告、試合の出場停止という三段階で成績管理を行う取組を開始した。 |
| 6-4取組による  効果 | * 本取組を開始する前に実施した運動部学生の成績実態調査においては、進級が危ぶまれる学生が２割強程度存在したが、昨年1年間の取組実施後に再度調査を行った結果、進級が危ぶまれる学生は1割弱まで減少した。 * 運動部学生向けの独自の成績基準は昨年試験的に導入し一定の効果は見られたが、次年度以降、進級が危ぶまれる学生をゼロにするため、今後学生へのヒアリング等をしながら改善していく予定である。 |
| 6-5実施体制 | * 学生支援課職員５名を窓口として配置し、面談の実施や成績基準を下回った生徒への注意勧告を行った。 |